

第8回遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会
WGⅡ「教育・普及のための教材づくり」について【要旨】

1. 渡良瀬遊水地探検ブックⅠ（教材Ⅰ）について

第7回合同部会後に専門家の意見も取り入れ修正した教材案を提示

【修正に係る意見】

(1) 表紙

- ・面積は約 33 k m² → 33k m²
- ・そのうち約半分の 15 k m² → 15 k m²
- ・小学3、4年生向けとしては言葉使いが難しい印象、
例：「契機」、「概成」、「調節池化」
但し難しい言葉について先生と児童でやりとりすることも学習である。先生にも確認してもらおうとよいのでは。
- ・振り仮名は、同一ページで2度目には振らない。

(2) 中面（見開き）

- ・ ☆渡良瀬遊水地には、たくさんの生き物が棲んでいます。その「
」
抜けた文章を表記

(3) 裏表紙

- ・なぜ渡良瀬遊水地を作ることになったの？ → つくることになったの？
- ・野鳥 263種 → 264種

(4) その他

- ・表紙または裏表紙の余白部分に、発行日を記載した方がよい
- ・入るならば、「編集・発行●渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」の下の部分

○指摘の箇所を修正し完成版とする。

2. 渡良瀬遊水地探検ブックⅡ（教材Ⅱ）について

③役割、④歴史、⑤暮らしを扱った内容の教材Ⅱの案を事務局より提示

【修正に係る意見】

(1) 全体

- ・書体を探検ブックⅠと同じ「丸ゴシック」にする
- ・見出しと画像の説明文の文字色を変える。

(2) 表紙

- ・[Ⅱ]のカッコの下が切れている

(3) 中面 (左ページ)

- ・なぜ渡良瀬遊水地を作ることになったのか? → つくることになったのか?
- ・「渡良瀬川の洪水の氾濫・・・」→「洪水」と「氾濫」で重複している。
- ・田中正造

「人々と一緒に反対運動を起こし・・・」→何故反対運動を起こしたか?について「移住しなければならなかったから」という理由を記載してはどうか。

(4) 中面 (右ページ)

- ・周囲堤や囲ぎよう堤の下に、越流堤と貯水池を表記した方がよい

(5) 裏表紙

- ・谷中村の昔・今
→今についてもっと触れてもよいのでは。
「ザンブリ漁」は今も行われている。
- ・「水害常習地帯」の「習」が誤字。
- ・画像説明文 雷電神社 → 雷電神社跡

(6) その他意見

- ・「遊水地とは? 洪水の時に・・・」:「洪水」の言葉は要るか。
→(利根上) 国交省の位置づけとしては「洪水」を用いてOK。
- ・「水塚」:読み方は「みつか」か「みづか」か:板倉町では「みつか」としている。

○指摘のあった点を踏まえ修正する。

3. 教材の印刷及び配布方法について

- ・「探検ブック I」の完成後はどのように配布するか。
→CDに焼いて各市町へ配布することを想定している。
- ・各市町の教育委員会にて印刷し各学校へ配布してはどうか。学校単位ではカラー刷りは不可の場合もある。
- ・学校への教材のPRも必要である。
- ・現在教材が無い市町には需要があるのではないか。
- ・HPよりダウンロード出来るようにもしてはどうか。他所から訪れる人にも使ってもらえる。
- ・現時点では協議会として予算を持っていないが、今後大量の印刷の需要が生じた場合は、協議会でも予算を持つことを検討してはどうか。